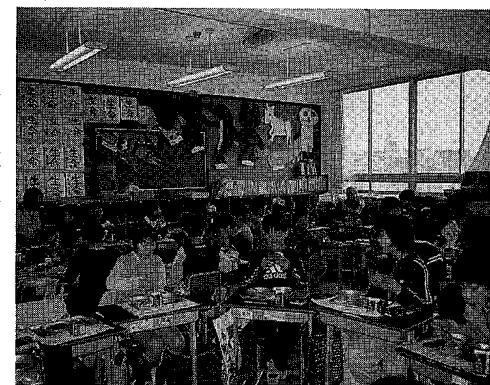


あつた時、かかる不祥事があつたものですから、子供本位の所謂円形ブールに設計変更をお願いしたのもかかる理由によります。この不祥事件は平間の汚点ですが、何んとこれが消防自動車の配属につながりがあるので西洋に「火は良き立使であり、悪い主人でもある……」という諺があります。古代に人類が火を使う事をマスター出来なかつたら恐らく巨大な動物との生存競争に生き残れなかつたでしょう。火を作ることを発見し木と木、石と石、石と鉄で打ち合せ暖房、食物の料理、陶器、武

が集団的・社会生活を営む様になると火の危険に悩まされ、火災を防ぐ消防が誕生します。世界で最初に消防が始まつたのはエジプトだと言われます。身近な話になれば、「火事は江戸の華」と言われ、大名火消、定火消、町火消の話に登場します。天正八年一月一日徳川家康公が江戸に入り幕府がおかれ諸大名が屋敷を構える様になり発展し、各大名を始め士族は瓦、檜皮葺、一帆は板、茅葺と制限があつて自分が判る様になつていた。これでは大火事になるのが当

上平間第一町会
顧問 長谷川英吉

児童の通学路の安全見守りの
為に、通学路添いの住民の協力



4年生と一緒に給食

平間小学校児童との交流

間小学校児童との交流 給食に招待され楽しい一時



かわら版

平成19年7月1日発行
上平間第二町会
編集責任者
堤 秀夫
印刷所 長谷川印刷(有)

質問を受け、とても楽しい一時を過ごすことが出来ました
校長さん始め学校の関係者に
心からお礼を申し上げたいと
思いました。

沖縄県うるま市との交流 県ボランティアセンター視察

川柳

前です、明暦三年の振袖火事や八百屋お七の可哀想な話、いろは四十八組の勇しい町火消、赤穂浪士の火事装束、宵越しの金は持たないなど江戸子の気風も育ちました。さて村火消の方は一般に村撃が定められていて、
一、火の用心に努める事。
二、もし村中に火事があれば急ぎ駆けつけ消火に努める事。
桶樽、肥桶が主力武器でした。宝歴年間に童吐水と言われる消火器が発明され、水鉄砲を大きくした様なものですが、当時としては破天荒な消火器でした。この童吐水の出現で消防の組織が変りました。

面は町会員の皆さまの集まる「広場」です。思い出、旅行記、隨筆、感想文、その他、何でも結構です。

ただし、思想、信条、宗教、プライバシーに係わるものは、受付けできません。原稿は左記まで。

上平間 393 番地 堤 秀夫

春の全国交通安全運動 5月12日から14日迄

平成18年度

一般会計予算案

	科目	18年度決算	19年度予算	摘要
収入	前年度繰越金	1, 803, 499	799, 789	
	町会費	3, 296, 250	3, 250, 000	
	雑収入	2, 725, 744	2, 200, 000	
	合計	7, 825, 493	6, 249, 789	
支出	総務部	1, 828, 215	1, 700, 000	
	防火防犯部	710, 875	700, 000	
	衛生部	128, 206	120, 000	
	青少年部	478, 761	550, 000	
	交通部	123, 830	100, 000	
	広報部	25, 932	50, 000	
	厚生部	674, 503	650, 000	
	管理部	452, 635	320, 000	
	婦人部	23, 974	50, 000	
	文化部	71, 385	70, 000	
	高齢社会部	203, 627	150, 000	
	防災部	1, 413, 591	100, 000	
	役員行動費	73, 500	100, 000	
	涉外費	649, 170	650, 000	
退職記念品費	167, 500	20, 000		
合計	7, 025, 704	5, 330, 000		
	次年度繰越金	799, 789	919, 789	

平成18年度 特別積立金会計=前年度繰越金 7,528,592
同 上 =次年度繰越金 7,528,592

(注) 特別積立金会計は19年度収入支出とも予定はありません。

